

2023年8月4日

大腸憩室出血に対して止血術「Clip/EBL(Endoscopic Band Ligation)/OTSC(Over-The-Scope Clip)/IVR(Interventional Radiology)」を受けられた患者様へ

「大腸憩室出血に対する止血術(Clip/EBL/OTSC/IVR)の有効性の研究」への協力をお願い

消化器内科では、過去または現在に下記のような治療を受けた患者様の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

① 研究の対象

中部国際医療センター消化器内科にて、大腸憩室出血と診断された患者様のうち、出血源加療目的に対止血術(Clip/EBL/OTSC/IVR)を受けられた患者さま

② 研究の期間

2023年8月1日～2024年3月31日

③ 研究の目的

集計データを解析し、中部国際医療センターの大腸憩室出血に対する治療方法を論文もしくは学会にて報告し、既報と照らし合わせ治療制度の向上を図ります。

④ 研究の方法

2014年1月1日～2023年7月31日までの当院で大腸憩室出血と診断された症例に対して、Clip/EBL/OTSC/IVRを実施した症例を対象にし、(1)患者背景(2)治療成績を後方視的に検討を行います。その際提示する画像情報には個人識別が可能な情報は含みません。

⑤ 研究責任者

大橋 洋祐 所属 中部国際医療センター 消化器内科 医員

⑤ 共同研究者

出田 貴康 所属 中部国際医療センター 消化器内科 副部長

⑥ 指導研究者

大島 靖広 所属 中部国際医療センター 消化器内科 部長

研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は中部国際医療センター医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

連絡先

中部国際医療センター 消化器内科
電話番号 0575-66-1100 (内線 7706)
責任者氏名：大橋 洋祐